

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(243)(HP 収載) —ベームのモーツアルト交響曲第39番—

1. 始めに

前報(242)に引き続き、STAGE+のベームが振るモーツアルト交響曲第39番の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のベームが振るモーツアルト交響曲第39番の演奏を選びました。

ベームが振るモーツアルト交響曲第39番

コンサート

ウィーン交響楽団

収録日: 1969年4月17日

指揮者としてのキャリアをほとんど歌劇場で築きあげ、1981年に87歳で亡くなる直前までオペラから離れることのなかったカール・ベームですが、最盛期の1959年～1968年にかけてベルリン・フィルと行ったモーツアルト交響曲全曲録音と、晩年の1976年～1980年にウィーン・フィルと収録した6曲のモーツアルトの後期交響曲集成は巨匠の偉業として今日でも高く評価されています。ここでは1969年にウィーン交響楽団を指揮して交響曲第39番を演奏する映像をお届けします。ベーム独特の実直な解釈が名門オーケストラのしっかりとしたアンサンブルから美しい響きを引き出す様子をご堪能ください。

演奏:

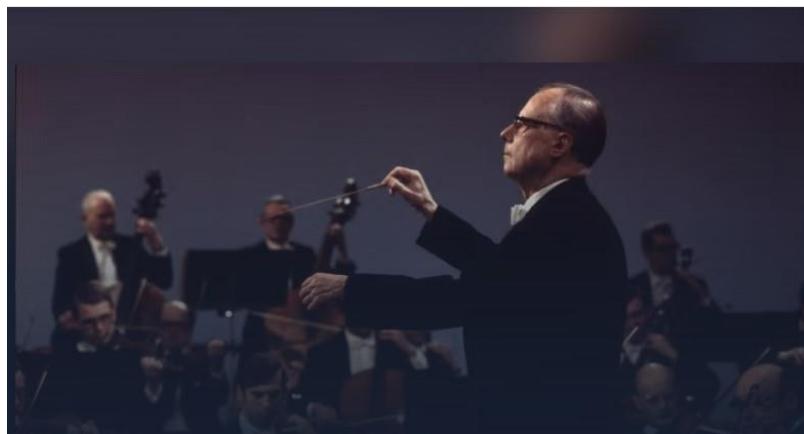
ウィーン交響楽団

指揮:

カール・ベーム

曲目:

ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト 交響曲第39番変ホ長調 K. 543

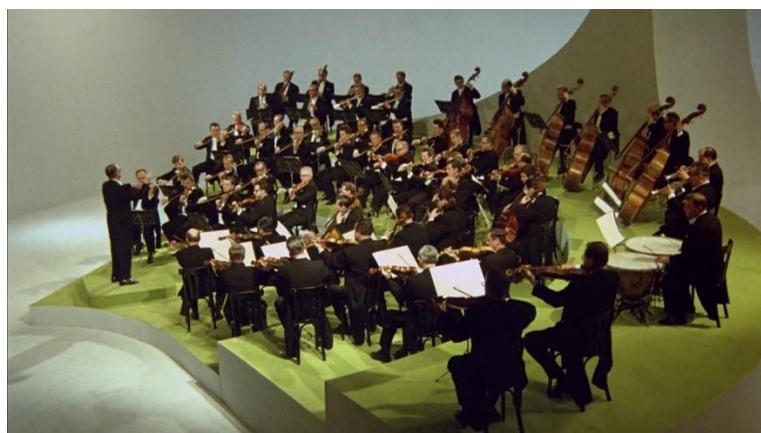


3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間とスイッチングハブ→PC 間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

1969 年の収録とありますが、音声はモノーラルのようで、オーケストラは中央に凝縮しています。映像では無観客のようで、TV 用の収録かもしれません。

ベームはいつもの淡々とした指揮ですが、ウィーン交響楽団からモーツアルトの交響曲第 39 番のウィーンらしい美しい響きを引き出しています。





4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX を適用した結果、モノーラルながら凝縮した音のモーツアルトが聴けました。

以上